学校番号	3005

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主教材、カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習を中心に授業を展開するため積極的に取り組みましょう。
プリントは、指示通りノートに貼るか、もしくはファイリングしてください。課題についても添削された所を振り返り、必ず確認して次回に活かしましょう。
提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

演習問題をとおして応用力を身につけることによって多様な進路希望に対応できる力を養う。
演習問題をとおして思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。
記述問題に取り組み実践的に学習することで、進んで表現する姿勢を身につける。
古文・漢文の基礎知識から読解まで演習問題をとおして応用力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	学習活動への参加姿勢や態度 プリント 記述の点検	学習活動における発言内容や態度 プリント 記述の点検	レポート、感想文などの作成した文章 プリント 記述の点検	学習活動における発言内容や態度 プリント 記述の点検 定期考査	学習活動における発言内容 プリント 記述の点検 定期考査

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	国語演習(基礎)	[教材] 現代文:漢字・語句の確認 演習問題 古文:用言・助動詞の確認 古文常識の学習 演習問題 漢文:漢文訓読の復習 漢文常識の学習	○		◎		○	a:古文・漢文の常識を的確に理解している。 c:出題意図を的確に理解し、適切な表現による文章を書き、自分の考えがまとめられている。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a:発言 c:プリント 記述の点検 e:定期考査
	国語演習(基礎)	現代文:演習問題 国語常識の学習 古文:敬語の確認 私大総合選抜対策 漢文:各種語法による訓読 漢文常識の学習 共通テスト対策問題	○		○	◎	○	a:様々な演習問題に取り組んでいる。 c:出題意図を的確に理解し、筋道を立てて自分の考えを書いている。 d:長文を的確に読解し出題意図を読み取っている。 e:語句の意味や用法を的確に理解している。	a:発言 c、d:プリント 記述の点検 e:定期考査
後期	国語演習(応用)	現代文:演習問題 国語常識の学習 古文:文法(和歌・識別) 共通テスト対策問題 漢文:漢詩 漢文常識の学習 共通テスト対策問題	○			◎	○	a:様々な演習問題に取り組み応用力をさらに高めている。 d:的確に長文を読解し出題意図に応じて的確に表現している。 e:漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a:発言 d:プリント 記述の点検 e:定期考査
	国語演習(発展)	現代文:私大入試及び共通テスト対策問題演習・記述対策 古文・漢文:古典籍に現れる思想の学習 私大入試対策問題 演習	○		◎	○	○	a:様々な演習問題に取り組み、実践的な力を養っている。 c:出題意図に応じた的確な表現による文章を書いている。 d:長文を的確に読み取り出題意図を理解している。 e:漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a:発言 c、d:プリント 記述の点検 e:定期考査

	国語演習（実践）	現代文:私大入試対策問題演習・記述対策問題演習 古文・漢文:私大入試対策問題演習・記述対策問題演習	○		◎	○	○	a:様々な演習問題に取り組み実践力を高めている。 c:出題意図を的確に読み取り、適切な表現による文章を書いている。 d:語句の意味や用法を的確に理解している。 e:漢字や語句の意味・用法を的確に理解している。	a：発言 c、d：プリント記述の点検 e：定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している